

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2018年7月31日から無期限です。	
運 用 方 針	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド受益証券
	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	先進国の医療テクノロジー関連企業の株式
組 入 制 限	アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。同一銘柄の株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分 配 方 針	毎決算時（年2回、原則毎年1月および7月の各15日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

愛称：みらいメディカル
アムンディ・
次世代医療テクノロジー・
ファンド（年2回決算型）

運用報告書（全体版）

第16期（決算日 2026年7月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社
〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号
お客様サポートライン：050-4561-2500
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株式組入 比 率	純資産 総 額
	(分 配 落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率		
	円	円	%	%	百万円
12期（2024年7月16日）	12,096	500	13.5	97.5	48,656
13期（2025年1月15日）	12,107	500	4.2	97.1	46,722
14期（2025年7月15日）	11,132	500	△ 3.9	97.4	43,009
15期（2026年1月15日）	11,531	500	8.1	98.1	42,736
16期（2026年7月15日）	9,458	0	△18.0	96.8	33,889

（注1）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注2）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質組入比率を記載しています。以下同じ。

（注3）当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

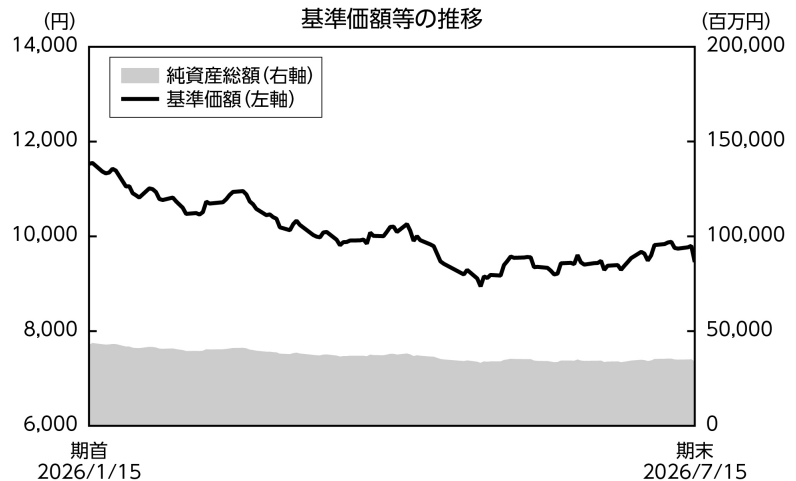
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株式組入 比 率
		騰 落 率	
(期 首) 2026年1月15日	円 11,531	% —	% 98.1
1 月末	10,819	△ 6.2	94.7
2 月末	10,939	△ 5.1	95.7
3 月末	9,811	△14.9	96.7
4 月末	9,471	△17.9	96.8
5 月末	9,356	△18.9	96.6
6 月末	9,635	△16.4	95.9
(期 末) 2026年7月15日	9,458	△18.0	96.8

（注）騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第16期首	11,531円
第16期末	9,458円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	△18.0%



【基準価額の主な変動要因】

当ファンドの基準価額は、前期末比で下落しました。

上昇要因

通期では為替要因がプラスに寄与しました。4月末の為替介入を受けて米ドル／円相場は一時的に円高に動いたものの、その後は緩やかな円安となり、当期末には1986年以来の1米ドル162円台を記録したため、米ドル建て証券への投資が多い当ファンドの基準価額にプラスとなりました。また、一部の銘柄は市場期待を上回る業績成長が確認され、株価が上昇しました。

下落要因

個別要因で上昇した銘柄があったものの、株式要因は全体としてマイナスに寄与しました。投資資金が当面極めて高い成長が見込まれるA I（人工知能）関連銘柄に集中した一方、医療テクノロジー関連銘柄は全体としては利益確定圧力を強く受け、バリュエーションが低下しました。また、実際に関税、競争激化、インフレ、医療支出抑制策などの逆風で業績成長が一時的に鈍化したり、慎重な見通しを明らかにした銘柄が目立ったことも株価を幅広く押し下げる要因となりました。外科手術、心血管／神経、診断機器、非侵襲的治療機器などのセグメントは下落率が大きく、組入比率も高かったためにマイナス寄与が大きなものとなりました。

【投資環境】

<世界株式市場>

当期初のグローバル株式市場では、地政学的リスクの高まりを受けてエネルギーが大きく上昇し、生活必需品や公益事業などの安定セクターも見直された一方、A I（人工知能）開発の競争激化や過剰投資への懸念から情報技術やコミュニケーション・サービス、および一般消費財・サービスの一部の銘柄が調整しましたが、全体としては3月初めまで横ばいで推移しました。米国とイスラエルは2月末にイランに対して大規模な軍事攻撃に踏み切り、さらにイランがホルムズ海峡を封鎖するなど報復姿勢を強めると、世界景気やインフレにおよぼす影響が懸念されて、グローバル株式市場は3月に急落しました。エネルギー以外は全面安となりましたが、4月になって米国とイランの一時停戦が実現したことに加え、A I 関連銘柄が好決算を発表すると市場は急反発に転じました。情報技術は6月初めまで大幅続伸となり、グローバル株式が高値を更新する原動力となりました。6月以降は再びA I 関連の過剰な投資への警戒が強まり、米国の年内利上げ観測も一時強まったことなどから、情報技術やコミュニケーション・サービスが小反落したものの、金利上昇で恩恵を受ける金融や、出遅れ感の強かったヘルスケアなどが上昇し、全体としては高値圏で推移して当期末を迎えました。通期では情報技術とエネルギーの上昇が大きく、資本財・サービスや公益事業なども堅調でしたが、一般消費財・サービスは期初の水準まで戻しきれず、ヘルスケアも期初の水準をいったん回復した後に小反落して期末を迎えました。各地域とも情報技術を中心に上昇して期末を迎えましたが、同セクターの比率が低く4月以降の反発が弱かった欧州が他地域をアンダーパフォームしました。

<為替市場>

為替市場では円安に歯止めをかけたい日本の政府・日銀の姿勢や、米ドルへの信認低下などから、1月末には1米ドル152円台まで円高となりました。しかし、日銀の利上げ先送りや、イラン情勢などを受けて2月以降は円安傾向となりました。日本の通貨当局は4月末に為替介入を実施しましたが円安抑制効果は一時的で、財政赤字などを背景に円に対する信認低下もあり、1986年以来の1米ドル162円台で当期を終えました。

【ポートフォリオ】

<当ファンド>

当ファンドは、アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドを通して、主に先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っております。当期においても、運用の基本方針に基づきマザーファンドの組入比率は高位を維持しました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

＜アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド＞

当マザーファンドは、バリュエーションと業績見通しなどの変化に対応して銘柄入れ替えと組入比率の調整を行いながら、45銘柄前後で構成されるポートフォリオ運用を行いました。期中の全売却は新製品開発の遅れなどで財務が悪化しているノボキア1銘柄です。コスト上昇や関税などの悪影響を受けているシーメンス・ヘルシニアーズ、GEヘルスケア・テクノロジーズ、ビオ・メリュー、アルコン、コロプラストなども比率を大きく下げました。一方、画像診断のコーニンクレッカ・フィリップスに再投資したほか、脊椎手術支援システムのグローバス・メディカル、診断機器のウォーターズ、前立腺手術支援システムのプロセプト・バイオロボティクスに新規投資しました。ポートフォリオ全体としては、整形外科関連や心血管／神経関連などの比率が上昇し、外科手術や非侵襲的治療機器などの比率が低下しました。

基準価額に対しては、為替要因が通期で1.5%近いプラス寄与となりましたが、投資している8セグメントのすべてが大きく下落し、株式要因が全体として19%のマイナス寄与となったことが重い足かせでした。心血管／神経関連では組入比率の高いボストン・サイエンティフィックが50%以上下落し、リパノバやランセウス・ホールディングスなどの好業績銘柄のプラス寄与を大きく上回るマイナス寄与となりました。ボストン・サイエンティフィックの成長見通しは、左心耳閉鎖術の適用拡大が遅れる観測などから引き下げられ、株価に逆風となりました。外科手術関連では、競争激化懸念に加えて慎重な業績見通しが逆風となってインテュイティブサージカルが大きく下落し、コロプラストも買収した事業の償却負担や米国での補助金引き下げなどで収益性が悪化し、大きく下落しました。診断機器では、新規投資のウォーターズは好決算を受けて株価が上昇しプラス寄与となりましたが、組入比率の高いアボットラボラトリーズがウイルス検査の需要伸び悩みなどで大きく下落しました。非侵襲的治療機器では、エシロールルックスオプティカが、スマートグラスの収益性の持続性が懸念されて反落しました。

(CPRアセットマネジメント)

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます（分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

＜当ファンド＞

アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドへの投資比率は今後も高位を維持する予定です。
(アムンディ・ジャパン株式会社)

＜アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド＞

医療テクノロジー関連銘柄のバリュエーションは過去の取引レンジを大きく下回っています。医療支出抑制を志向する政策の下、医療施設が設備投資に慎重な姿勢を示し、個別銘柄の一時的な要因による逆風もあって、成長見通しが引き下げられたことがバリュエーション低下の背景と考えます。しかしながら、手術や検査件数などは着実に増加しており、高齢化と医療テクノロジーによる治療機会の拡大という長期的な構造に変化はないと思われます。医療テクノロジーの浸透には医療施設にとっても患者にとっても大きなメリットがあると考えています。このような環境で、競合他社との差別化と企業価値の創出につながる重要な要素は、新製品の開発において信頼性の高い臨床データを迅速に示せるかどうかにあると考えます。年後半から来年にかけては、このような機会が多く見込まれており、成長見通しの改善とバリュエーションの上昇につながるきっかけになると期待しています。大手企業が成長性の高い分野での競争力確保のために進めている買収の動きもバリュエーション上昇に寄与するとみています。当ファンドでは心疾患、整形外科、画像診断などの分野の成長性が特に魅力的とみています。

(CPRアセットマネジメント)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第16期 (2026年1月16日 ～2026年7月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	89円 (44) (44) (2)	0.889% (0.436) (0.436) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	0 (0)	0.004 (0.004)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.005 (0.005)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用)	1 (1) (1) (0)	0.015 (0.006) (0.005) (0.004)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	91	0.913	
期中の平均基準価額は10,005円です。			

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

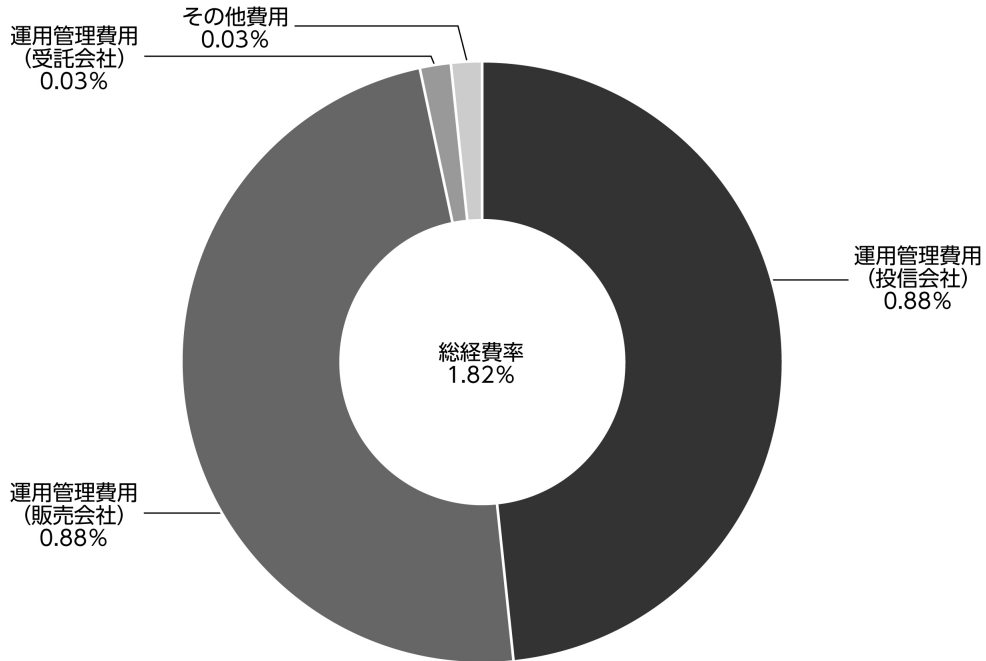
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応する費用を含みます。

（注5）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

■売買及び取引の状況（2026年1月16日から2026年7月15日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	—	—	948,932	1,900,000

（注）単位未満は切捨てです。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	10,895,234千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	35,649,659千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.30

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

（注3）金額は、外貨建金額を日本の対顧客電信売買相場の仲値より邦貨換算したものです。

■利害関係人との取引状況等（2026年1月16日から2026年7月15日まで）

期中の利害関係人との取引状況

<アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）>

該当事項はありません。

<アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド>

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為 替 直 物 取 引	3,738	—	—	5,538	600	10.8

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、クレディ・アグリコル銀行です。

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

■組入資産の明細（2026年7月15日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期 首（ 前 期 末 ）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	17,880,133	16,931,200	33,342,613

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド全体の受益権口数は、当期末16,931,200千口です。

■投資信託財産の構成（2026年7月15日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	33,342,613	97.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	922,522	2.7
投 資 信 託 財 産 総 額	34,265,135	100.0

（注1）金額の単位未満は切捨てです。

（注2）アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（31,374,514千円）の投資信託財産総額（33,543,710千円）に対する比率は93.5%です。

（注3）外貨建資産は、当期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2026年7月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=162.17円、1ユーロ=185.39円、1英ポンド=217.36円、1スイスフラン=200.53円、1デンマーククローネ=24.80円、1オーストラリアドル=113.26円です。

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年7月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	34,265,135,107円
コール・ローン等	722,504,323
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド(評価額)	33,342,613,959
未 収 入 金	200,000,000
未 収 利 息	16,825
(B) 負 債	375,684,408
未 払 解 約 金	40,666,872
未 払 信 託 報 酬	331,659,189
そ の 他 未 払 費 用	3,358,347
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	33,889,450,699
元 本	35,831,755,147
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,942,304,448
(D) 受 益 権 総 口 数	35,831,755,147口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,458円

(注記事項)

期首元本額	37,060,841,454円
期中追加設定元本額	1,961,911,609円
期中一部解約元本額	3,190,997,916円

■損益の状況

当期（自2026年1月16日 至2026年7月15日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,299,579円
受 取 利 息	2,299,579
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△6,926,042,756
売 買 益	488,574,985
売 買 損	△7,414,617,741
(C) 信 託 報 酬 等	△ 335,017,536
(D) 当 期 損 益 金(A＋B＋C)	△7,258,760,713
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,057,602,937
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,258,853,328
(配 当 等 相 当 額)	(3,154,304,101)
(売 買 損 益 相 当 額)	(104,549,227)
(G) 計 (D＋E＋F)	△1,942,304,448
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G＋H)	△1,942,304,448
追 加 信 託 差 損 益 金	3,258,853,328
(配 当 等 相 当 額)	(3,156,050,765)
(売 買 損 益 相 当 額)	(102,802,563)
分 配 準 備 積 立 金	2,057,602,937
繰 越 損 益 金	△7,258,760,713

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用

当ファンドの投資対象である親投資信託の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、信託約款第39条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の80以内の率を乗じて得た額を支払っております。

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第16期
	(2026年1月16日～2026年7月15日)
当期分配金	—
（対基準価額比率）	（— %）
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,455

（注1）「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

（注2）「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

《お知らせ》

- ・一般社団法人投資信託協会が一般社団法人資産運用業協会に名称を変更したことにとともない、2026年4月1日付で投資信託約款に所要の変更を行いました。

アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド

運用報告書

《第8期》

決算日：2026年7月15日

(計算期間：2025年7月16日～2026年7月15日)

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	主として先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。個別銘柄選択を重視した運用を行います。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用にあたっては、CPRアセットマネジメントに運用の指図に関する権限を委託します。
主 要 運 用 対 象	先進国の医療テクノロジー関連企業の株式
組 入 制 限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。

■最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 中 騰 落 率	株式組入 比 率	純 資 産 総 額
	円	%	%	百万円
4 期 (2022年 7 月15日)	15,175	△ 3.5	96.9	45,632
5 期 (2023年 7 月18日)	17,965	18.4	94.8	47,243
6 期 (2024年 7 月16日)	21,434	19.3	97.7	48,551
7 期 (2025年 7 月15日)	21,868	2.0	97.8	42,859
8 期 (2026年 7 月15日)	19,693	△ 9.9	98.4	33,343

(注) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

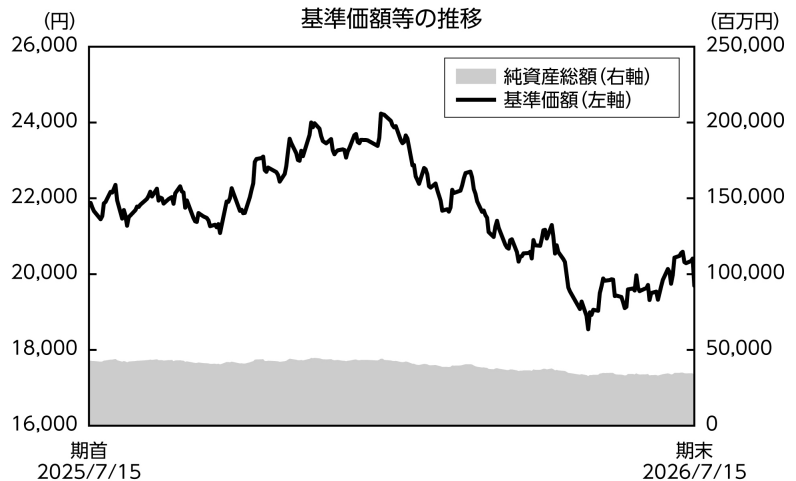
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株式組入 比 率
(期 首) 2025年 7 月15日	円 21,868	% —	% 97.8
7 月末	22,355	2.2	97.1
8 月末	21,860	△ 0.0	96.6
9 月末	21,235	△ 2.9	95.8
10月末	22,810	4.3	96.5
11月末	23,980	9.7	97.1
12月末	23,528	7.6	98.0
2026年 1 月末	22,384	2.4	96.9
2 月末	22,666	3.6	97.0
3 月末	20,329	△ 7.0	98.1
4 月末	19,649	△10.1	97.8
5 月末	19,434	△11.1	97.9
6 月末	20,052	△ 8.3	96.9
(期 末) 2026年 7 月15日	19,693	△ 9.9	98.4

(注) 騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第8期首	21,868円
第8期末	19,693円
騰落率	△9.9%



【基準価額の主な変動要因】

当ファンドの基準価額は、前期末比で下落しました。

上昇要因

為替要因が大きくプラスに寄与しました。高市政権発足後、財政悪化懸念などから米ドル／円相場は円安への動きを強めました。日銀は2025年12月に利上げを実施したものの実質金利はマイナスで、円安圧力の強い状況が続きました。2026年4月末の為替介入や6月の再利上げなどの効果は一時的で、当期末には1986年以來の1米ドル162円台を記録したため、米ドル建て証券への投資が多い当ファンドの基準価額にプラスとなりました。株価要因は、当期前半に医療サプライ（消耗品）、診断機器、心血管／神経などの関連銘柄を中心にプラスに寄与しました。

下落要因

当期後半は株価要因のマイナスが大きくなりました。株式市場では当面極めて高い成長が見込まれるAI（人工知能）関連銘柄に資金が集中した一方、医療テクノロジー関連銘柄は全体としては利益確定圧力を強く受け、バリュエーションが低下しました。また、実際に関税、競争激化、インフレ、医療支出抑制策などの逆風で業績成長が一時的に鈍化したり、慎重な見通しを明らかにした銘柄が目立ったことも株価を幅広く押し下げる要因となりました。外科手術、心血管／神経、診断機器、非侵襲的治療機器などのセグメントは下落率が大きく、組入比率も高かったためにマイナス寄与が大きなものとなりました。

【投資環境】

＜世界株式市場＞

当期のグローバル株式市場は取引レンジを切り上げて高値を更新する動きが続きました。当期前半は、米国の輸入関税の世界景気への影響をめぐる不確実性が薄れ、企業業績面では活発なA I（人工知能）投資の恩恵が情報技術だけではなく電力インフラなどにもおよんで上方修正が続き、金融面では米国の利下げなどが株価上昇を支えました。11月以降は貴金属や非鉄などの商品市況の上昇を受けて素材が急上昇し、年明け後は米国によるベネズエラ制圧に続いてイランへの攻撃の可能性が強まったことでエネルギーが上昇するなど、けん引役を交代しながら株式市場全体の上昇基調は3月初めまで続きました。米国とイランの戦局が長期化の様相を示すと、世界景気やインフレに与える悪影響が懸念され、グローバル株式市場は急落しましたが、4月になって米国とイランの一時停戦が実現したことに加え、A I 関連銘柄が好決算を発表すると市場は急反発に転じました。情報技術は6月初めまで大幅続伸となり、グローバル株式が高値を更新する原動力となりました。6月以降はA I 関連の過剰投資への懸念が強まったものの、金融やヘルスケアなどが見直され、株式市場全体としては高値を維持して期末を迎えました。通期では情報技術、エネルギー、素材、コミュニケーション・サービス、金融、資本財・サービスなどが20%を超す上昇を記録（現地通貨建て）した一方、一般消費財・サービス、生活必需品、不動産は一桁台の上昇にとどまりました。地域別では、収益性や企業統治改善が評価された日本株の上昇が通期で際立つものとなりました。

＜為替市場＞

当期末の為替市場では、日銀の利上げ観測とF R B（米連邦準備理事会）の利下げが円高要因となった一方、国内政局の不透明感や財政悪化懸念が円安要因となり、米ドル／円相場は1米ドル148円を挟んだ比較的狭いレンジで推移しました。高市政権が2025年10月に発足後は、財政悪化懸念や日銀の利上げが遅れるとの観測から円安への動きを強めました。日銀は実際には12月に利上げを実施したものの、実質金利はマイナスで円安圧力の強い状況が続きました。2026年4月末の為替介入や6月の再利上げなどの効果は一時的で、当期末には1986年以来の1米ドル162円台を記録しました。

【ポートフォリオ】

当マザーファンドは、バリュエーションと業績見通しなどの変化に対応して銘柄入れ替えと組入比率の調整を行いながら、45銘柄前後で構成されるポートフォリオ運用を行いました。期中の全売却は見通しの悪化したインスパイア・メディカル・システムズやノボキュア、株価が目標水準に達したメダクタ・グループなどの5銘柄です。コスト上昇や関税などの悪影響を受けているシーメンス・ヘルシニアーズ、ビオ・メリュエ、コロプラストや、大きく上昇したアイデックスラボラトリーズなども比率を大きく下げました。一方、画像診断のコーニンクレッカ・フィリップスに再投資したほか、脊椎手術支援システムのグローバス・メディカル、診断機器のウォーターズ、義肢・装具のオットーボックなどの計7銘柄に新規投資しました。エドワーズライフサイエンス、ストラウマン・ホールディング、HOYAなども買い増しで比率を引き上げました。ポートフォリオ全体としては、整形外科、消耗品や心血管／神経関連などの比率が上昇し、外科手術、診断機器や非侵襲的治療機器などの比率が低下となりました。

基準価額に対しては、為替要因が通期で8%あまりのプラス寄与となりましたが、投資している8セグメントのうち7セグメントが通期で下落し、株式要因が全体として18%近いマイナス寄与となったことが重い足かせでした。心血管／神経関連では組入比率の高いボストン・サイエンティフィックが50%以上下落し、リバノバ、エドワーズライフサイエンスなどの好業績銘柄や買収提案を受けたペナンプラなどのプラス寄与を大きく上回るマイナス寄与となりました。ボストン・サイエンティフィックの成長見通しは、左心耳閉鎖術の適用拡大が遅れる観測などから引き下げられ、株価に逆風となりました。外科手術関連では、8月にインスパイア・メディカル・システムズが業績見通しを引き下げて大きく下落し、高い成長が続いていたインテュイティブサージカルも競争激化懸念に加えて慎重な業績見通しが逆風となって1月以降に大きく反落しました。診断機器では、アイデックスラボラトリーズやウォーターズなど、好決算を受けてプラスに寄与した銘柄もありましたが、組入比率の高いアボットラボラトリーズがウイルス検査の需要伸び悩みなどで大きく下落しました。整形外科関連では関税の影響などでストライカーが下落したことが足かせでした。非侵襲的治療機器では、スマートグラスへの期待などで上昇していたエシロールルックスオティカが、11月以降に反落しました。唯一プラス寄与の消耗品関連では、ベクトン・ディッキンソンが新しいパートナーシップの成功で、2025年前半の下落から反発に転じたことがプラスに寄与しました。

(CPRアセットマネジメント)

【今後の運用方針】

医療テクノロジー関連銘柄のバリュエーションは過去の実績レンジを大きく下回っています。医療支出抑制を志向する政策の下、医療施設が設備投資に慎重な姿勢を示し、個別銘柄の一時的な要因による逆風もあって、成長見通しが引き下げられたことがバリュエーション低下の背景と考えます。しかしながら、手術や検査件数などは着実に増加しており、高齢化と医療テクノロジーによる治療機会の拡大という長期的な構造に変化はないと思われます。医療テクノロジーの浸透には医療施設にとっても患者にとっても大きなメリットがあると考えています。このような環境で、競合他社との差別化と企業価値の創出につながる重要な要素は、新製品の開発において信頼性の高い臨床データを迅速に示せるかどうかにあると考えています。年後半から来年にかけては、このような機会が多く見込まれており、成長見通しの改善とバリュエーションの上昇につながるきっかけになると期待しています。大手企業が成長性の高い分野での競争力確保のために進めている買収の動きもバリュエーション上昇に寄与するとみています。当ファンドでは心疾患、整形外科、画像診断などの分野の成長性が特に魅力的とみています。

(CPRアセットマネジメント)

■ 1 万口当たりの費用明細

項 目	第 8 期 (2025 年 7 月 16 日 ～2026 年 7 月 15 日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	2円 (2)	0.007% (0.007)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.011 (0.011)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.011 (0.011) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	6	0.029	
期中の平均基準価額は21,690円です。			

(注 1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注 2) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、
項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況 (2025 年 7 月 16 日から 2026 年 7 月 15 日まで)
株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 －	千円 －	千株 157	千円 346,101
外 国	ア メ リ カ	百株 3,734 (55)	千米ドル 35,268 (1,440)	百株 4,469 (ー)	千米ドル 61,677 (1,440)
	ユ ー ロ	209	千ユーロ 1,422	891	千ユーロ 3,649
	イ タ リ ア	－	－	420	635
	フ ラ ン ス	155	3,223	403	6,852
	オ ラ ン ダ	2,102	5,462	55	127
	ベ ル ギ ー	－	－	65	151
	イ ギ リ ス	7,725	千英ポンド 1,842	622	千英ポンド 192
	ス イ ス	474	千スイスフラン 3,837	662	千スイスフラン 4,958

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	デンマーク	百株 —	千デンマーククローネ —	百株 312	千デンマーククローネ 17,668
	オーストラリア	—	千オーストラリアドル —	4	千オーストラリアドル 86

(注1) 金額は受渡し代金です。
(注2) 単位未満は切捨てです。
(注3) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	21,807,720千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	38,693,014千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.56

(注1) 単位未満は切捨てです。
(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2025年7月16日から2026年7月15日まで)

期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為 替 直 物 取 引	百万円 6,586	百万円 —	% —	百万円 12,086	百万円 900	% 7.4

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、クレディ・アグリコル銀行です。

■組入資産の明細（2026年 7 月15日現在）

(1) 国内株式

銘 柄	期首 (前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
電気機器（－％）			
シスメックス	128.8	—	—
精密機器(100.0％)			
テルモ	154.9	146.9	320,168
オリンパス	352.6	334	583,498
HOYA	38.8	36.9	934,677
合計	株 数 ・ 金 額	675	517
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	3
			1,838,343
			<5.5％>

（注1） 銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

（注2） 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

（注3） 評価額の単位未満は切捨てです。ただし、評価額が単位未満の場合は小数で記載しています。

（注4） —印は組入れなしです。以下同じ。

(2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	2,051	2,019	17,965	2,913,532	ヘルスケア機器・サービス
BAXTER INTL.	391	370	807	130,993	ヘルスケア機器・サービス
BECTON DICKINSON	422	400	6,028	977,700	ヘルスケア機器・サービス
BOSTON SCIENTIFIC	2,662	3,063	13,057	2,117,601	ヘルスケア機器・サービス
DANAHER CORP	87	82	1,649	267,439	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	1,056	989	8,913	1,445,444	ヘルスケア機器・サービス
RESMED INC	74	70	1,356	219,948	ヘルスケア機器・サービス
STRYKER	720	611	19,029	3,085,946	ヘルスケア機器・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	94	89	4,756	771,436	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WATERS CORP	—	42	1,607	260,698	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GLOBUS MEDICAL INC - A	—	256	1,945	315,446	ヘルスケア機器・サービス
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	328	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
STERIS PLC	140	132	2,770	449,287	ヘルスケア機器・サービス
ENOVIS CORP	—	511	1,260	204,451	ヘルスケア機器・サービス
SOLVENTUM CORP	—	35	272	44,236	ヘルスケア機器・サービス
MEDTRONIC PLC	1,511	1,188	9,427	1,528,870	ヘルスケア機器・サービス
GLAUKOS CORP	473	89	1,365	221,392	ヘルスケア機器・サービス
PENUMBRA INC	169	147	4,674	758,086	ヘルスケア機器・サービス
(アメリカ・・・米国店頭市場)					
IDEXX LABORATORIES INC	145	44	2,430	394,130	ヘルスケア機器・サービス
MERIT MEDICAL SYSTEMS INC	513	486	3,453	560,109	ヘルスケア機器・サービス
ALIGN TECHNOLOGY INC	144	46	829	134,574	ヘルスケア機器・サービス
REPLIGEN CORP	20	19	281	45,572	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	504	453	17,212	2,791,367	ヘルスケア機器・サービス
DEXCOM INC	1,153	1,091	8,093	1,312,444	ヘルスケア機器・サービス

銘 柄		期首(前期末)	当	期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千米ドル	千円	
ATRICURE INC		1,160	1,098	3,769	611,339	ヘルスケア機器・サービス
INSULET CORP		123	144	2,298	372,797	ヘルスケア機器・サービス
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY		859	562	3,465	562,066	ヘルスケア機器・サービス
PROCEPT BIOROBOTICS CORP		—	514	993	161,194	ヘルスケア機器・サービス
LANTHEUS HOLDINGS INC		266	364	3,734	605,550	ヘルスケア機器・サービス
LIVANOVA PLC		807	520	4,115	667,450	ヘルスケア機器・サービス
NOVOCURE LTD		185	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
IRHYTHM HOLDINGS INC		298	242	2,729	442,580	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	16,370	15,691	150,297	24,373,692	
	銘 柄 数<比率>	27	30	—	<73.1%>	
(ユーロ・・・ドイツ)				千ユーロ		
SIEMENS HEALTHINEERS AG		1,669	789	2,705	501,569	ヘルスケア機器・サービス
OTTOBOCK SE & CO KGAA		—	198	986	182,838	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	1,669	987	3,691	684,408	
	銘 柄 数<比率>	1	2	—	<2.1%>	
(ユーロ・・・イタリア)						
AMPLIFON SPA		420	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	420	—	—	—	
	銘 柄 数<比率>	1	—	—	<—%>	
(ユーロ・・・フランス)						
ESSILORLUXOTTICA		496	449	7,425	1,376,547	ヘルスケア機器・サービス
BIOMERIEUX		266	64	454	84,229	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	762	514	7,879	1,460,776	
	銘 柄 数<比率>	2	2	—	<4.4%>	
(ユーロ・・・オランダ)						
KONINKLIJKE PHILIPS NV		—	2,046	4,709	873,141	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	—	2,046	4,709	873,141	
	銘 柄 数<比率>	—	1	—	<2.6%>	
(ユーロ・・・ベルギー)						
FAGRON		1,223	1,158	2,767	513,106	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	1,223	1,158	2,767	513,106	
	銘 柄 数<比率>	1	1	—	<1.5%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	4,076	4,706	19,048	3,531,432	
	銘 柄 数<比率>	5	6	—	<10.6%>	
(イギリス・・・英国市場)				千英ポンド		
SMITH & NEPHEW		1,015	961	1,070	232,792	ヘルスケア機器・サービス
CONVATEC GROUP PLC		2,862	10,020	2,110	458,678	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	3,878	10,981	3,181	691,471	
	銘 柄 数<比率>	2	2	—	<2.1%>	

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(スイス・・・V I R T - X市場)		百株	百株	千スイスフラン	千円	
SONOVA HOLDING AG		88	83	1,712	343,318	ヘルスケア機器・サービス
ALCON INC		1,174	909	4,928	988,380	ヘルスケア機器・サービス
MEDACTA GROUP SA		116	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
STRAUMANN HOLDING AG-REG		89	287	2,979	597,382	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	1,468	1,280	9,619	1,929,080	
	銘 柄 数<比率>	4	3	—	<5.8%>	
(デンマーク・・・コペンハーゲン市場)				千デンマーククローネ		
COLOPLAST A/S		650	338	13,429	333,060	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	650	338	13,429	333,060	
	銘 柄 数<比率>	1	1	—	<1.0%>	
(オーストラリア・・・オーストラリア市場)				千オーストラリアドル		
COCHLEAR LIMITED		88	83	1,027	116,387	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	88	83	1,027	116,387	
	銘 柄 数<比率>	1	1	—	<0.3%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	26,532	33,082	—	30,975,125	
	銘 柄 数<比率>	40	43	—	<92.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成（2026年7月15日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	32,813,468	97.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	730,242	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	33,543,710	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産（31,374,514千円）の投資信託財産総額（33,543,710千円）に対する比率は93.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年7月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=162.17円、1ユーロ=185.39円、1英ポンド=217.36円、1スイスフラン=200.53円、1デンマーククローネ=24.80円、1オーストラリアドル=113.26円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年 7 月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	33,743,710,347円
コール・ローン等	707,199,343
株式(評価額)	32,813,468,964
未 収 入 金	200,000,000
未 収 配 当 金	22,791,971
未 収 利 息	7,704
差 入 委 託 証 拠 金	242,365
(B) 負 債	400,584,654
未 払 金	200,578,714
未 払 解 約 金	200,000,000
そ の 他 未 払 費 用	5,940
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	33,343,125,693
元 本	16,931,200,914
次 期 繰 越 損 益 金	16,411,924,779
(D) 受 益 権 総 口 数	16,931,200,914口
1万口当たり基準価額(C／D)	19,693円

(注記事項)
期首元本額 19,599,735,385円
期中追加設定元本額 69,232,900円
期中一部解約元本額 2,737,767,371円

(当期末元本の内訳)
アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド(年2回決算型) 16,931,200,914円

《お知らせ》

- ・一般社団法人投資信託協会が一般社団法人資産運用業協会に名称を変更したことにともない、2026年 4 月 1 日付で投資信託約款に所要の変更を行いました。

■損益の状況

当期 (自2025年 7 月16日 至2026年 7 月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	391,066,167円
受 取 配 当 金	378,671,582
受 取 利 息	11,732,792
そ の 他 収 益 金	661,793
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,053,375,095
売 買 益	6,271,055,598
売 買 損	△10,324,430,693
(C) そ の 他 費 用 等	△ 4,432,450
(D) 当 期 損 益 金(A＋B＋C)	△ 3,666,741,378
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	23,260,131,686
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	80,767,100
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 3,262,232,629
(H) 計 (D＋E＋F＋G)	16,411,924,779
次 期 繰 越 損 益 金(H)	16,411,924,779

(注 1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注 2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注 3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。